

00	09	03	002	永年保存	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議長 副議長 事務局長 次長 主査 主査 担当								文書取扱主任

## 第 18 回 市立病院建替計画等調査特別委員会 会議録

開催年月日	平成 20 年 7 月 30 日(水曜日)	開会 : 10 時 02 分	閉会 : 11 時 53 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	井上、山木、酒井、山口、荒木、堀、田村、議長	事 務 局	中嶋事務局長
	委員外～窪之内、清水、関藤、大谷、三上、堀田、山腰、水口		田湯次長
欠席委員	渡辺、本間		寺嶋主査
説明員	別紙のとおり		
議 件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 調査事項について		
	次の事項について、所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 再積算の結果について		
	(2) 収支計画見直し等について		
	(3) 補正予算の概要について		
	2 その他について		
	なし		
	3 次回委員会の日程について		
	7月31日(木) 10時		
上記記載のとおり相違ない。 市立病院建替計画等調査特別委員長 井上正雄 ㊞			

平成20年7月29日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席について

平成20年7月24日付け滝議第72号で通知のありました市立病院建替計画等調査特別委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

副市長	末 松 静 夫
会計管理者兼理事	飯 沼 清 孝
市立病院事務部長	東 照 明
市立病院事務部事務課長	鈴 木 靖 夫
市立病院事務部事務課改築推進室長	菊 井 弘 志
市立病院事務部事務課改築推進室主幹	田 中 武 雄
市立病院事務部事務課改築推進室副主幹	配 野 英 夫
市立病院事務部事務課改築推進室主任主事	佐 藤 智 人
市立病院事務部事務課改築推進室主任技師	横 田 和 典
総務部長	高 橋 賢 司
総務部限財政課主査	景 由 隆 寛

(総務部総務課総務グループ)

第18回 市立病院建替計画等調査特別委員会

H20. 7. 30(水) 10:00  
第一委員会室

○開 会

○委員長挨拶(委員動静)

1. 調査事項について

- |                  |      |
|------------------|------|
| (1) 再積算の結果について   | (資料) |
| (2) 収支計画見直し等について | (資料) |
| (3) 補正予算の概要について  | (資料) |

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○閉 会

## 第18回 市立病院建替計画等調査特別委員会会議録

H20. 7. 30 (水) 10:00

第一委員会室

開 会 10:02

### 委員動静報告

委員 長 山木遅刻。渡辺、本間欠席。議長出席。委員外議員～窪之内、清水、関藤、大谷、三上、堀田、山腰、水口。北海道新聞、プレス空知、北海道建設新聞の傍聴を許可する。

#### 1 調査事項について

委員 長 22日の特別委員会でも話されたが、いろいろと精査をして背水の陣で臨むといった予算を組んで資料もすべてきょう出してくるとのことである。資料も多岐にわたっているので午前中をめどにしているがあすも予備日として行う。特にあすはきょうの残の質問と病院の最高責任者である黒田院長から考え方を伺う予定で取り進めることになっている。(1)、(2)、(3)について一括説明をしていただき、質疑を受ける形で進めるのでよろしく願います。冒頭、副市長から発言を求められているので、これを許可する。

副市長 本日特別委員会を開催していただいたことをお礼申し上げます。市立病院の建てかえにかかる工事、発注については6月末において入札すべきよう進めたが、辞退ということから発注ができなくなった。また、他市においても資材高騰による入札不成立、国交省における単品スライド条項の7月1日からの発動など、資材高騰の背景の中、この度根本的に市場価格動向を把握して見直し、さらに仕様の見直しを図る中、補正予算をまとめさせていただいた。これに伴い、病院収支、市の収支がどうなるかのチェックも行い、やっつけ見込みがあること、これまで各議員の多大な協力のもとに起債、補助金の確保ができた背景、何より30圏域の一つとして位置づけられた市立病院であること、さらには医師及び医療技術者、患者確保に向けて対応し得る施設病院であることを考えると、何よりも地域医療を守るために対応したいという一念で、補正予算に対する理解をいただきたいのが切なる願いなので、よろしく願い申し上げます。

委員 長 (1)、(2)、(3)について一括説明願う。

#### (1)再積算の結果について

#### (2)収支計画見直し等について

#### (3)補正予算の概要について

東部長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員 長 説明が終わった。7月22日の質疑の中で田村委員、酒井委員から要求のあった資料については、今説明されたとおりということでもよろしく願います。質疑はあるか。

田 村 ① オーダリングシステムを導入したことにより再来患者が減っているというか延ばしているとのことだったが、これくらい延ばしても患者には影響ないととらえてよいか。

② 再来が延びたことで他院に流れているという実態があるのか伺う。

東部長 ① かつては薬の投与の最長期間の制限があり長期投与ができなかったが、今はその制限がなくなった。今回オーダリングを導入することで一人当たりの医師の業務がふえ患者の混雑が予想されるということで、延ばしても影響がない患者さんについて薬の投与期間を延ばし、例えば今まで60日後を予定していたのを90日後にしてくださいといったことでお願いしているので、直接患者さん

の病状等に支障があるものについてはそういう対応はしていない。状態が悪いということであれば受診していただいている方については対応しているということである。

② 申しわけないが明確な分析ができていない。いろんな話で聞いているのはどこも少し減っているようだという話である。後期高齢者医療制度でいろいろ負担がふえたというような新聞報道が相当あったことで受診抑制されているのかなど勝手な推測をしているが、そこまでの分析はしていない。

委員長  
堀

他に質疑はあるか。

① 今回の見直しは鉄骨・鉄筋の価格の高騰によるものとのことだが、この急激な高騰の要因は何だったのか。

② 鉄骨・鉄筋の今後の見通しについて伺う。

東部長

① 新聞等の情報からではかわからないが、1つには鉄鉱石を購入する額が非常に急激に六十数%上がったという報道もされている。また、中国の需要が旺盛で輸出に回している部分がふえていることでメーカーが強気で生産調整したり、あるいは国内で合わないものは輸出に回すなどの傾向もあって価格が相当上がったと思う。あわせて重油やいろんなものも上がっているので影響していると思う。自動車産業なども価格交渉の中では値上げを受け入れたということが一、二カ月前に載っていたので、そういう部分では世界的な価格上昇と考えている。

② 相場の見通しについては、なかなか半断できない。

堀

1年後、2年後に鉄鉱石などの相場が安くなったとして、病院の建てかえを延期することによるデメリットはどのようなものがあるのか伺う。

東部長

1つには価格が下がった場合どうなるのかということだが、今回国は物価スライド、単品スライドを発動すると言われている。物価スライド、単品スライドをやった場合、上がった場合ではなく下がった場合どうなるのかについては、それも対象として考えると聞いている。一方だけが都合がいいという考えではないようだが、詳細についてはわからないので明確にはお答えできない。延期した場合のデメリットとしては、起債の許可を心配している。数年前から国が公立病院を減らそうと統廃合を推進しており、17年から滝川市立病院の建てかえということで実質的には起債に総務省の許可がいることで、市長を初め、いろんな方が総務省に働きかけて何とか許可を取りたいことでやってきた。総務省の内部でも相当反対があった。隣町の砂川と滝川は何キロ離れているのか、わずかなところで2つの病院の建てかえというのは今の総務省の考えとは違う、といった意見が今でも総務省内部で相当強いと聞いている。いろんなところで実情を訴え、働きかけてきた中で、何とか理解していただき今回許可をもらったということなので、もしこれで何年か後ということでは延期をして改めて起債の許可となったときには、当然砂川はそのときには新しい病院になっているので起債許可は今までよりさらに厳しいものになることが想定される。暮らしにぎわい再生事業についても、それぞれ事業認可からの年数の期限があるので、国の補助金、この暮らしにぎわい再生事業補助金あるいは耐震事業補助金などについても今後どうなるのか、延期した場合にももらえるという保証はないと思っている。内部的に心配しているのは非常に老朽化が進んでいることである。あちこちで水漏れが起きたり、ボイラーについても耐用年数が来ていることから、延ばした場合に逆に修繕費用等が相当かさむ心配もある。また、今回の建てかえについては、院長もこういうことで建てかえをするので今後の医師の派

遣をお願いするという事で各大学の医局を回っているのが実態なので、延期になった場合、大学医局も医師が不足しており、優先順位が低くなるとなかなか回してくれないという実態があるので、将来性を疑われて優先順位を下げられないか、あるいは職員は建てかえに向けて頑張ろうということをやっているが延期になることでモチベーションの低下も心配される。また、砂川が先に完成して滝川が古い病院ということになると、患者さんの流出も心配される。そのような背景も含めると、滝川市立病院が今後もこの地域としてしっかりと市民の命と健康を守る役を果たすためには今の建てかえが必要と考えている。他に質疑はあるか。

委員長  
酒井

① 12億円の内訳はどうなっているのか。例えばP2にそれぞれ示されているが、部材料費についてはそれぞれ幾ら使っていて単位当たり幾らだったのか。鉄筋工事については実施設計予算計上、今回補正で155.7%ということを出ているが、実際には幾ら使われていて今回の分はどうだったのか比較できる形で、例えば何トン使われていたとか単位量がわかる形なら比較できるので、それについて出していただきたい。

② 上記以外の増額分で9億5,158万6,000円ということで、部長の説明では独自の査定をやめたためとのことだが、それ以外の部分の鉄筋・鉄骨・コンクリート工事の部分では2億4,400万円に過ぎないのでかなり大きな部分である。この部分が一番の根本部分と思うので、内訳について詳細な説明を願う。また、その部分において人件費単価などが変わっていないのか伺う。それ以外の部分での値上がり分がどうなっているかについても伺う。

③ 鉄の資材価について、本などによらず見積もりによって積算を行ったと言われた。資料では平成20年7月の鉄筋の価格はトン当たり12万円、鉄骨は12万5,000円ということを出されているが、鉄筋・鉄骨・コンクリートの見積もりは今回幾らで出されているのか説明願う。

④ P4、病院事業収支の平成23年度だが、4億7,000万円ということで大きく出ているが、この部分について説明願う。

⑤ P9、合計診療報酬請求額について、基準としては18年度より平均で1,065万5,000円低いと、こうしたマイナスを収支計画に反映させるのが筋と思うが、考え方について伺う。

⑥ P8に実質市負担額が示されている。以前市長選挙のときに市民一人当たりの負担額は2,000円程度ということを出されていたが、こうした形で負担額が当初と値上げ時と増加分が幾らだったのかについて示していただきたい。同様に病院の負担額についてもこのまま引き算して出るのか伺う。

⑦ 市民説明会について、今後は行うが補正の前には行わないとのことだったが、今後どのように行われるのか非常に心配なので考え方を伺う。

⑧ 単品スライド条項について、契約時から12カ月経過後について1,000分の10を超える分について適用されるということだが、今後も資材価格が上昇すれば単品スライド条項が適用されるが、仮に物価が2割上がった場合の市民負担、財源がどうなるのか示していただきたい。

⑨ きょうの新聞で東京の公共事業、国土交通省絡みだったと思うが指名停止が発表されていた。この中に今回応募された企業があるか調査しているのか伺う。

委員長

多岐にわたっての質問だが、これから現実に入札が行われるわけなので支障になっては困ることから、答えられる範囲で答弁願う。

- ① 12億円の内訳についてだが、物価資料によって積算できるものについては物価資料によって積算しており、物価資料に掲載のないものについてはメーカーからの見積もり、また、メーカーからの聞き取りでどれくらい引いてもらえるのかを聞いて置き換えている。実施設計のときはメーカーから聞き取った数値を私のほうで過去の取り引き事例を調べてここまでは落とせるだろうと独自に査定して落としてきたが、それが今の実際の市場価格に合致していなかったということで考えている。
- ② 9億5,100万円については、見積もり等によったものについての価格が主たる部分である。もちろん詳細を調べていけば物価資料によったもので上昇があったものについてもこの中には若干含まれていると思うがトータルで記載している。内訳を詳細にと言われてもなかなか難しい部分で、これから入札制度ということが入っているのも、どういう形で入札するのかということによっては予定価格を推測できるということも不適切と考えているので、トータルな部分で判断いただきたい。ただ積算の資料の中で人件費については上がっていないようである。最近になって特定のものには急激に上がっているが、それ以外についてはまだ上がっていない。ただ重油の価格上昇関係については、新聞報道でも言われているがこれからいろいろ影響してくると思う。例えば食料品なども上がってきているが、輸送費などが上がるとプラスチックやいろいろなものが上がるという意味ではこれから上がってくる心配はあるが、現時点ではそれほど目立った上昇にはなっていない状況である。
- ③ 鉄の部分については、見積もりによって基本計画時、前回の実施設計時に査定した額との比較でこういう割合で伸びたということで、数量は変わっていないので上昇率についてはこの部分で上昇したと理解願う。
- ④ P4については、総括表の医業収支がどうだったのか、減価償却、経常収支、特別損失を含めていって最終的に病院事業収支がどう見込まれるかということだった。これが23年度における基本計画時が上段で、補正後は下段に書かれているということで、大きな違いはP5の減価償却費を見ていただくと見直し後が1億5,500万円ということで、計画前は5億9,000万円を見ていたが、工期がずれ込んでいっているのもそれぞれの初年度の工事費の見込み額がかなり変わってくるので、そういう意味を含めて減価償却費等が変わってきたことである。もちろん、これのほかにIT関連、情報化の関係も基本計画で見込んでいた分があったが、今回オーダーリングをやって見込みより少し減ったこともあり、トータルで時期がずれ込んだことにより減価償却費が変わってきたことによる相違である。
- ⑤ 患者さんの動向とかいろいろなものは月でも変動がある。ある年は春先はふえたが後半は悪かったとかその逆もあるので、月々で必ずしも計画が変わるのかということになると計画としては成り立たない。どこかの時点であるものを基礎ベースにするという考え方をもとに計画をしないと、日々計画が変わってしまうことになる。そういう意味では、確かに下がっているが原因もある程度わかっているので一層努力していきたいと考えている。
- ⑥ 基本計画時には一般会計の実質負担が27億9,200万円で、30年で割ると約8,460万円だがわかりやすくするために9,000万円くらいの負担をいただくということで説明してきた。これを4万5,000人で割ると約2,000円ということで、今回は単純に1年間で1,033万円ふえるので33年で割ると1年間では300円弱となる場所である。もともと実際には2,000円いっていなかったこ

とからいうと、300円弱というのはいくらか少なくなると考えている。病院のほうでの負担については、P8に企業債、元利償還金、繰り出し基準50%で7億9,900万円、約8億円である。半分はどうするかというと診療収入で返すわけなので8億円を病院事業収入で返すことになる。これを33年で割ると1年間に約2,400万円ということになる。これを病院事業会計の収益として営業収入の中で稼ぎ出すという考え方である。この部分については収支の計画については償還額なども見込んでいるので、ふえた部分についてはこの計画表の中に折り込まれている。

⑦ 起債やいろんな部分での許可の問題などがあり、いろんなものが少しずつ上がってきている背景を考えると、私としてはできるだけ早期に発注するほうが得と考えている。ただ、市民説明が時期的になかなか難しいので理事者とまだ協議していないが、これらの部分で補正がなればこのような形で変わるということは広報でお知らせしていきたい。秋に行われるまち懇では、病院の部分が今回の補正でどう変わったのかについてきちんと説明させていただきたい。それ以外にどういう方法があるのか、どうすべきなのか今後理事者側と協議していきたいが、補正予算前の説明会は正直難しいと考えており、病院側のインターネット等で掲載できればしたいと思っている。議決前ということで時期については的確なときに載せさせていただきたい。

⑧ 単品スライド条項については、仮の話はなかなか難しく、2割上がった場合に市民負担がどうなるかについては申しわけないが今の時点では出せない。財源については、もし単品スライドで上がって工事費がふえるということになると、それは起債などの財源に求めていくことになるので、長期的な部分で負担をしていくことになると思う。

⑨ 私は今回の部分での云々というのはつかんでいない。

副市長

⑨ 国交省、開発局に関連しての報道がさまざまされているが、指名停止に関して前回応募した中に指名停止に伴う業者がいたのかどうかという質問と思うが、特定JVで応募を受け付けた中には2社いて、私どもとしては7日付で指名停止をかけている状況である。

酒井

① 見積もり価格について入札で云々という話は理解したが、せめて部材の重量だけでも示していただきたい。全使用重量ということで、例えば鉄、アルミ、銅で幾らという形で出していただきたい。それと設備や電気、建築の内訳についても出していただきたい。

② 病院の負担額について、1年間に2,400万円を収益として稼ぎ出していくとのことだったが、経営努力ということだが担保というのが見えてこない。特に補足説明があれば伺いたい。

③ 指名停止について、2社あったとのことだが指名停止の期間は前回委員会で伺ったのと同じと理解してよいか。

委員長

指名停止の関係はどこの部分を言っているのか。

酒井

今回伺っているのは国交省での指名停止で私が以前質問したのは開発局の指名停止だが、それと同様と理解していいのか。

委員長

これから公正な入札執行という問題もあるので、差しさわりのない範囲で答弁願う。

東部長

① 重量の部分で鉄骨・鉄筋については今わかるのでこの後担当から説明させていただく。設備、電気等については入札前ということでどういう形で入札するのかということに当然影響してくるので、今の段階ではお答えできないと説

明させていただきます。

② 病院の負担が2,400万円くらいふえるのに経営努力が見えてこないということで、収支の中で説明したがP3に事業費が変わることで例えば起債の償還の元利合計額、他会計、負担金、減価償却が変わるということで、これは全部置き換えているので実質的な病院会計の負担である2,400万円はP4以降の収支に組み込まれている。それで収支がうまくいっているのかということ、トータルのいくと何とかやれそうだが、その中で収入は、医業収支等については前の基本計画と全く同じで、医業費用についても基本的には前と同じだが、経費については基本計画では18年決算見込みをベースに1億5,300万円を積みさせてもらったが、今回は19年度決算額に1億5,360万円を積みかせていただいたということである。決算見込み額と決算額にかなり差があったということがある。決算見込みというやはり少し安全パイを踏んで積んでいるということがあるが、そういうところを決算値に置きかえて、実際にかかる費用については実数に置きかえて今回最終的に示している、そういう中で収支としては実質的な負担増もこの中に見込んでいることで理解いただきたい。

副市長

③ 私どもは指名停止に当たって要領を持っており、逮捕または起訴の事実を知った日からとなっているので、それが正式に報道機関等で発表された場合は、要領にのっとってやっていくということである。指名停止の制度がどうなのかということについては総務部内で行っている、制度そのものの議論となると総務文教常任委員会での議論となると思うので、特別委員会での議論になじむなじまないは委員長にお願いしたい。

田中主幹  
委員長

① 鉄筋については3,700トン、鉄骨は1,000トンである。  
指名停止の関係については、制度まで踏み込んだ発言ではないように思うのでよろしいか。(はい)

酒井

先ほど鉄骨H型鋼で1,000トンと言われたが、単純に割るとトン当たり25万円になる。こういう計算で本当によいか。ここの数字から見るとなかなか出てこないがいかがか。

田中主幹

H型鋼についても断面がいろいろあり、すべてがH型鋼ではなく主要部材、副材料などいろいろある。全部足すと1,000トンで、価格についてはそれぞれ部材によって違い、今回は申し上げられないので理解願う。

酒井

全く金額が違う。多少金額が上がったならわかるが、ここまで違ってしまうとH型鋼以外にもあると言われてもわからない。こうした割り算が正しいのかどうか伺う。

委員長

ここで休憩する。

休 憩 11:42

再 開 11:43

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。答弁願う。

東部長

ちょっと誤解があるように思う。12億4,200万円ふえた内訳についてはP2に記載しているが、鉄筋で1億3,000万円くらい、鉄骨で7,600万円くらいで2億4,400万円、それ以外の部分でメーカーの査定方法を変えたことで9億5,000万円ということなので、それぞれの部材でいくとふえた部分が根拠となっている。ただP2とその裏面では大きな差がある。P2裏面は鋼材の市場における価格推移で、これは鉄骨・鉄筋のそのものだけの値段であり、建設するときにはこれらを加工するので、積算するときにはP2に載っている鉄骨・鉄筋の金額に加工賃を含めた額が価格になってくるので、材料を使ってそういう加工をし

て組み立てて建物にするので、加工賃込みの値段になる。単純に鉄骨であれば今回で7,600万円ふえたが、6月の時点で時点修正で1億100万円ふえて1億7,700万円だった。単純にいくとそこだけで17万円ふえたのではないかと誤解されるかもしれないが、材料のほかにも加工賃などが全部込みになっており、その辺の大きな違いがあるのでP2裏面上昇の関係とは必ずしも合致しないことを理解願う。

酒 井

9億の中身が全くわからなくなってしまった。今までの説明では鉄などが高騰したために上がったという形だったが、実際はそれ以外で上がっている部分があった。先ほどの説明では査定の部分とのことだったが、実際には何で上がったのか。人件費は上がっていないと言われたし、鉄自体の価格もそれほど上がっていない。そうすると査定の部分だけが残るので、その部分を詳しく説明していただきたい。

東 部長

P2を開いていただきたい。私の説明不足と思うが再度この部分を説明させていただきたい。基本設計のときには全国の調査をして目標値を決めた。面積が2万4,000平米、平米当たり28万6,000円で総額70億700万円だった。これは概数なので積み上げではないので、鉄骨が幾ら、何が幾らといったことはない。トータル的な単価としてこのくらいという目標である。基本設計の途中には概数で鉄骨・鉄筋でどれくらいかかるとか、建具がどれくらいといった概数の計算をして何とか70億くらいでおさまりそうという話だった。実施設計のときにはまず物価の資料で積算できるものについてはそれから積算したが、物価本等に載っていないものについてはメーカーから聞き取りをし、見積もりを出した。例えば見積もりとしては100円だが値引いて60円に入れられるということで、本当なら60円にしておけばまさに市場価格を反映していることになるが、民間ならもっと値引くということもあり、例えば50円に入るのではないかなど切り込みをしたということがある。基本設計は概数でいっているが、実施設計は全部積み上げたので、その結果基本設計より1億309万円多く、概数と積み上げの違いが出たということがある。鉄骨・鉄筋等については急激な価格上昇があったので、物価本の資料で積算するといっても3月時点での物価資料を用いたのでは余りに金額が違い過ぎることで、それを5月時点での物価資料に置きかえた。その置きかえたのが鉄筋で1億5,131万2,000円、鉄骨で1億104万1,000円で、もちろんこれは部材加工費を含んだ部分でやっており、したがってトータルで3億5,500万円ふえたほとんど主なもの、急激な価格上昇の鉄骨・鉄筋によるものとの説明をさせていただいてきたところである。ただ、そういうことでやってきたがそれが市場価格とは全く乖離していたことが前回の入札辞退ということにつながったことから、今回はその考え方を改めて独自の査定を基本的にはしない、メーカーの部分については6月で見積書の有効期限が過ぎているので、再度提出していただき、再度ヒアリングをしてそれが実際に幾らで入るのかという話を聞いて基本的にはこのくらいで入るという価格を積み上げていったのを原則としたものである。物価資料によるものについては、今の時点で物価資料によって積算をしているということで、その結果の内訳として12億4,000万円くらいふえた。その部分としてわかるように内訳として区分すると、鉄骨・鉄筋・コンクリートはそういう部分の値段ということである。物価資料でいくとどうしても時点差が生じるので見積もりに切りかえたという背景もあり、この部分についてはこういうことで違うということがわかるようにここに記載させていただいた。それ以外の9億5,100万円については

査定の仕方を含めて変えたことと、中には一部値上がりした部分もあるので、そういうものがトータルで9億5,100万円あった。それと工期の変更によって増額するものが4,600万円あってトータルで12億4,200万円だったということである。

委員長  
山口

他に質疑はあるか。

あすの委員会できょうの部分はもう一回質問できるのか。(はい)新しい説明は別に出てくるのか。(ない)

委員長

まだ質疑を残されている方もいると思うが、あす院長からの話もあるのでそれも踏まえて質問を受けたいと思うのでよろしく願います。(1)、(2)、(3)については報告済みとする。

## 2 その他

委員長

事務局からあるか。(なし)委員から何かあるか。(なし)

## 3 次回委員会の日程について

委員長

あす7月31日10時とする。以上をもって第18回市立病院建替計画等調査特別委員会を閉会する。

閉 会 11:53